

令和6年度 経営改革プラン

団体名	公益財団法人こうべ市民福祉振興協会	
設立年月日	昭和56年6月1日	
団体の設立目的・沿革	「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念を遵守し、市民、事業者及び神戸市がそれぞれ有する人材、資力、その他の福祉資源を総合的に活用することによって、市民福祉を振興するための事業を創造かつ推進し、もって市民の福祉の向上に寄与することを目的とする。	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	市民の福祉意識の啓発を図る事業	福祉局政策課
		福祉局障害福祉課
		福祉局高齢福祉課
	市民の福祉活動の振興	自主事業
	総合福祉ゾーン「しあわせの村」の運営	福祉局政策課、建設局公園部管理課
	介護保険制度の公正・公平な運営を確保するための事業 (介護認定業務・介護保険運営指導業務)	福祉局介護保険課 福祉局監査指導部
	しあわせの村内便益施設の運営	自主事業
保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺の運営	自主事業	
代表者	会長 山本 泰生	

役職員数 (令和5年7月時点)	理事・評議員		監事		職員		合 計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		29	29
神戸市派遣職員	1	1	-	-		6	8
神戸市OB職員	2	2	-	-	7		11
その他	-	12	-	2	71	21	106
合 計	3	15	-	2	78	56	154

財務状況(単位:百万円)	令和4年度	令和3年度	差引
経常損益	▲ 56	▲ 12	▲ 44
当期正味財産増減額	▲ 181	▲ 77	▲ 104
流動資産	376	540	▲ 164
流動負債	180	259	▲ 79
長期借入金(固定負債)	1,121	1,227	▲ 106
期末現金預金残高	125	378	▲ 253

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	市民福祉を振興するための事業を実施し、市民の福祉向上に寄与する
ミッション②	様々な人材、団体、福祉資源を活用し、福祉の新たな価値を創造する
ミッション③	市民福祉を推進するための人材を育成・確保する

■短期的なミッション（令和6年度のミッション）

ミッション①	協会事業の実施と事業の効率化・廃止を含む見直し
ミッション②	新たな福祉課題への取組み
ミッション③	人材、団体との連携の推進
ミッション④	組織人材の育成のためのキャリア制度の充実

■経営指標（令和4年度）

経営指標				令和3年度	令和4年度	前年度比増減
人的 パフ オー マン ス	職員 一人 あたり 純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	▲0.652	▲1.412	▲0.8ポイント
	経常費用 人件費比 率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	33.89%	33.56%	▲0.3ポイント
財政 的 パフ オー マン ス	総資本 経常利益 率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	▲0.50%	▲2.62%	▲2.1ポイント
	流動資産 回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	248.30%	357.37%	109.1ポイント
財政 安 定 性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	208.01%	208.05%	0.0ポイント
	自己資本 比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	33.57%	30.76%	▲2.8ポイント
持 続 性	自己資本当 期純利益率 (ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	▲9.23%	▲27.69%	▲18.5ポイント
	純資産 増加率	(当期純資産-前期純資産)/ 当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	▲9.23%	▲27.69%	▲18.5ポイント

■ ミッション工程表

ミッション名		令和6年度						令和7年度～					
中長期的ミッション													
①	市民福祉を振興するための事業を実施し、市民の福祉向上に寄与する	しあわせの村を活用した自然体験学習の実施や就労体験の実施						しあわせの村を活用した自然体験学習の実施や就労体験の実施					
②	様々な人材、団体、福祉資源を活用し、福祉の新たな価値を創造する	コロナ禍における収支の悪化からの回復を目指し、5年度からの経営改善の取組みを進めつつ、しあわせの村におけるソーシャルインクルージョンの実現に向け、若手を中心とした職員のワーキングチームによる立案等の新たな取組みを着実に進める。						財政状況を注視しながら、しあわせの村におけるソーシャルインクルージョンの実現に向けた新たな取組みを着実に実施する。					
③	市民福祉を推進するための人材を育成・確保する	職員のスキル・モチベーションの向上を図り、法人として市民福祉のさらなる振興を推進するため、計画的な研修制度の整備、若手を中心とした職員によるワーキングチームの取組み、神戸市部局等との人事交流を検討し、実施する。						6年度に整備した研修制度等に基づき、人材育成に取り組む。					
ミッション名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション													
①	協会事業の実施と事業の効率化・廃止を含む見直し	7年度中の電子決裁の導入に先立ち、6年度下半期にグループウェアを導入し、情報共有の充実を図り、事業の効率化を進める。											
		5年度に実施した事業見直しに基づき事業を実施											
②	新たな福祉課題への取組み	発達気になる児童とその保護者を対象とした「のびのび運動ひろば」、市内特別支援学校に通う生徒に就労のイメージを持ってもらうことを目的とした「超短時間インターンシップ」や子供の居場所づくり等を目的とした「こども手話交流会」などの事業を引き続き実施。											
③	人材、団体との連携の推進	しあわせの村におけるソーシャルインクルージョンを目指した7年度以降の新たな取組みを、民間団体等との連携も視野に入れながら検討を進める。収支改善の進捗状況によっては6年度から新規事業を実施する。											
④	組織人材の育成のためのキャリア制度の充実	固有職員のキャリア形成に応じた研修カリキュラム構築の検討・実施											
		市部局等との人事交流の実施											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標 及 び 実 現 方 法	団体目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財政状況の改善（令和6年度末正味財産残高：414百万円以上） ・ 組織風土の変革・人材育成 ・ 市民福祉事業へのさらなる取り組み
		・ 「事業の必要性」「収支の適正性」の観点から既存事業の見直しを実施。
		・ グループウェアの導入等によるコミュニケーションの効率化・活性化に取り組む。
		・ 職員のワークライフバランスに配慮した柔軟な勤務体系の実現を目指す。
		・ 各種研修の企画や、ワーキングチームによる新規事業の企画等を通じた計画的な人材育成に取り組む。
		・ 市部局との人事交流を継続的に実施するなど、外郭団体職員として求められる人材の育成に取り組む。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施事業の見直し、業務スタイルの見直しと歩調を合わせた組織編成、人員配置を行う。 ・ 多様な市民の参画によるソーシャルインクルージョンの実践及びその成果の発信の強化に取り組む。

■ 市支援策の活用状況（令和5年度）

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input checked="" type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	